リスニングカアップには

声を出せ!



河野メソッドの ススメ

リスニングの学習法は「聞く」だけではない一

『必ず聞き取れる新 TOEIC® テストリスニング』などの著者である、英語講師の河野太一さんは、暗唱、シャドーイングを含めた独自の声出し練習を教室で取り入れ、

生徒のリスニング力を劇的にアップさせている。

ここでは、なぜ声を出す練習がリスニング学習に欠かせないのか、河野さんに語っていただいた。

リスニングには「音声」と「意味」という2つの側面があります。これまでの日本の英語教育では「音声」が軽視されてきました。自分の頭にあるカタカナ英語的なイメージと、実際の音声のギャップは、リスニングを阻害する大きな要因です。最近では発音の重要性についてずいぶんと意識が高まってきたようにも感じますが、きちんと学んで練習している人はまだまだ少ないですね。

しかし仮に「音声」を学んだとしても、まだ足りない部分がある。「意味」の側面です。これは見落とされがちな視点です。多くの人は、音声さえ聞き取れれば、意味は自然とますが、実際はそうはならない。構文が耳で聞き取れていないからです。読むのは得意という人でも、リスニングとなると単語を拾って聞くのが精一杯で、文全体の構造を理解しながら聞き取れないんです。だから「…は…で、…ではあるが…でもあり、その理由は…」という「論理のつながり」が聞き取れない。単語を「適

当に」頭の中でつなぎ合わせる聞き 方を私は「単語リスニング」と呼ん でいますが、たいていの学習者はこ のレベルにとどまっています。

リスニングではよく「大意を聞き取りなさい」と言われ、実際それは大切なのですが、細かい「つながり」が聞けてこそ大意も取れるという側面もあるのです。どうももやがかかったような理解しかできないのは、「つながり」がプチプチ切れていることに原因がある。そこから脱却するには、「文を文として聞ける」段階、すなわち「構文リスニング」の段階に昇らなきゃいけないんです。

「構文リスニング」のためには、 英語の構文に深く習熟することが必要となります。音声は瞬時に消えていきますから、遅れが許されない。 英語の文の組み立てに対する反射神経がないとついていけない。その「構文神経」を育てるのが「暗唱」という練習方法なのです。「暗唱」とは「丸暗記」ではなく、文字を見ずに頭の中で文を組み立て直し、声に出す練習です。それを繰り返すことで「構 文神経」は育つ。

要はアウトプットの練習をするんです。発音もそうですけど、とにかく自分の口から英語を出す訓練をする。それもただネイティブと話すとかではなく、「暗唱」に「シャドーイング」と「音読」を加え、「疑似英会話」の修練を積んでおく。「話す練習を通じて聞く力を育てる」という逆転の発想なのです。

河野太一(こうのたいち): 早稲田大学政治経済学部中退。半年間シアトルに留学した以外は日本で英語を身に付けた「国内派」。河野塾主宰(www.konojuku.com)。取得資格は、TOEIC 990点(満点)・TOEIC Speaking and Writing Tests 各200点(満点)・英検1級など。あだ名は「白くま」。

試験のリスニング対策にお薦め!

必ず聞き取れる 新TOEICテスト リスニング 9





9

『必ず聞き取れる新TOEIC®テスト リスニング』 『必ず聞き取れる TOEFL® テスト リスニング』 河野太一 著、アルク 刊、 税込価格はそれぞれ 1890 円、2100 円

河野メソッドの4STEPSを押さえよう!

STEP1 シャドーイング 1 (音声のイメージを作る)

ネイティブスピーカーの音声に続いて、1~3 語 (0.5~1秒) 遅れで、追い掛けるように発声する練習です。「スクリプトを見るか見ないか」「声を出すか出さないか」の組み合わせで、3回ずつ、合計9回行います。完全に音声についていくことは目標とせず、規定回数が終われば、次のステップに進んでください。



「スクリプトを見ない」 + 「ロパク」

…3回

まず、スクリプトを見ずに、口を動かすだけで音声に ついていく練習をしましょう。日本人学習者は、英語 のスペリングを見ると、どうしてもカタカナ的イメージ で音声を想像してしまいます。それを防ぎ、英語の 音声そのものに向き合えるようにします。

STEP2 暗唱(構文に対する感覚を養う)

まず、「筆写」(書き取り)を行い、文法解説を読んで、 英文をしっかり理解します。その後、スクリプトを見ず にその文を3回暗唱しましょう。これを、文単位で、最 後の文までやります(¶周目)。その後、スクリプトの 最初に戻って「黙読→3回暗唱」を頭から順に行いま す(¶周目)。狙いは、完全暗記ではなく、頭の中で「英 文を組み立てていく感覚」を養うことにあります。



a 2 回筆写し、文法解説を読む

スクリプトを見ながら、センテンスを2回書き写します。 「それぞれの単語がそこに存在することを確かめてあ げる」ような気持ちで行ってください。 覚え込もうと いう意識は持たないように。上級者は、筆写を省略 して黙読するだけでも構いません。

STEP3 音読(英語のスピードに慣れる)

英文を、CD に頼らずに声に出して読む練習です。3 段階に速度を変化させ、合計 4 回行います。意味を考えながら読むことで、リスニングにおいても「意味を聞き取る」意識で聞けるようになります。また徐々に速く読むのに慣れることで、TOEIC などの音声のスピードや言い回しに圧倒されてしまうことなく、「これが普通」と感じられるようになります。



全文をゆっくり読む …1回

目の前に聞いている人がいることをイメージして、その人にメッセージを伝えるつもりでゆっくりと読み上げます。これは「単語の羅列を読み上げているだけ」という状態を避け、自分自身できちんと意味を考えながら読むためです。

STEP4 シャドーイング 2 (成果を確認する)

トレーニングの最後の仕上げです。音声の再確認と、これまでのトレーニングの成果を確かめる意味合いがあります。口を動かさずにリスニングを1回行った後、シャドーイングを3回行います。ついていけない部分が残っても、それは当たり前。目をつぶって先に進む思い切りの良さも必要です。

全文をひと通り聞く

シャドーイングを行う前に1回だけ、まったく口を動かさず、ただ聞くだけのリスニングを行います。完全に耳だけに集中した状態で、音声の特徴をとらえ直すためです。これまでのトレーニングを経ていれば、聞くだけの状態でも「聞き流し」にならず、音の細かな部分に留意できるはずです。

ここでは、メソッドの内容を具体的に見ていきます。 p. 26 から始まる実際の練習に入る前に、ここで手順をしっかり押さえておきましょう。 なぜその STEP をやるのかを意識しながら練習すれば、より高い学習効果を得られます。

7

「スクリプトを見ない」

… 3 回

「つぶやき声」

今度は、声を出してシャドーイングをしてください。 声を出すことで「ロパク」の時にはわからなかった、 自分がついていけない部分が顕在化します。CD の 音声をきちんと聞き取れるくらいの大きさのつぶやき 声で練習しましょう。 3

「スクリプトを見る」 + 「つぶやき声」

…3回

最後に、スクリプトを見ながらシャドーイングをしましょう。知っているはずの表現が聞こえていないのは、 自分がそれらに対して持っている音声のイメージと実際の発音が違うからです。文字と CD の音声と比べながら、正しい音声イメージをつかみましょう。

bその文を 3 回暗唱する

(a) を文単位で、最初から最後まで)

スクリプトから顔を上げるか、目をつぶり、声に出して読みましょう。少し考えて思い出せなければ、英文を見て確認し、つまずいたところから再び始めてください。@⑥を文単位で、最後の文まで行います。

2

文を黙読し、3回暗唱する (文単位で、最初から最後まで)

スクリプトの冒頭から、文単位で「黙読→3回暗唱」を最後の文まで行います。この2周目は、筆写は行いません(1周目に、時間をかけてゆっくり単語を組み立てていくつもりで行っておくことがポイントです。そうすれば、2周目は、自然とスピードが上がります)。

2

全文を普通に読む …1回

CD のネイティブスピーカーの話すスピードをイメージし、自分がネイティブスピーカーになったつもりで行ってください。ここでも、意味を考えながら読むことが重要です。CD のスピードでは速過ぎる、という場合は、スピードを落として読んでも構いません。

3

全文を速く読む …2回

計2回行いますが、1回目は、思い切り速度を上げることが重要ですので、意味は考えなくても構いません。ただし単語を読み飛ばさないように。全単語を発音しながらどこまで速く読めるか、ゲームのような感覚で読みましょう。2回目は、速く読みながら、同時に意味を考えることにも挑戦してください。

2

「スクリプトを見る」 + …1回 「大きめの声で」

スクリプトを見ながら声を出してシャドーイングをします。文字と音声のイメージの擦り合わせを再度行うことが目的です。もともと自分が持っていた音声イメージにいつのまにか戻ってしまった部分があれば、意識して直していきましょう。

3

「スクリプトを見ない」 + …2回 「大きめの声で」

最後に、スクリプトを見ないで2回シャドーイングを行います。声は、STEP1の時よりやや大きめにしてください。これは、自分がシャドーイングできている部分とできていない部分をより顕在化させて、自覚するためです。

練習その1 エッセー(前半)

EJ の連載コーナー Tea Time Talk を使って、まずは練習してみましょう。2008 年 12 月号所収の Keeping Up with the Joneses (ジョーンズさんたちに負けるな)の前半部分が素材です。 ここでトレーニングの方法に慣れ、「練習その2」のセットで、スムーズに練習できるようにしましょう。

STEP1 シャドーイング ①



CD の音声を聞きながら、自分も声に出してついていく練習です。 計 9 回、 1 回終わるごとに、チェックボックスにチェックを入れてください。音声解説は最初見ないようにし、 「スクリプトを見る+つぶやき声」の段階に入る前に目を通すようにするといいでしょう。

Ch	eck!		
	スクリプトを見ない+ロパク	•	スクリプトを見ない+つぶやき声
	108 208 308	•	10目 20目 30目

I live in an old(1) neighborhood called the "Historic District." Some of the⁽²⁾ houses were⁽³⁾ built in the 19th century and have been⁽⁴⁾ restored to look just like they did when they (5) were first built. Some are painted (6) crazy colors like blue, orange, and even pink, but the one directly across the street looks exactly like an old⁽⁷⁾ Southern mansion from *Gone with the*⁽⁸⁾ Wind. My own one-story house, built in 1954, is actually quite modest, with only two bedrooms and one bathroom. If you've ever heard the expression "keeping up with the Joneses," you can imagine that living in a small house surrounded by mansions might feel a little strange at times 10.

"Jones" is one of the most common family names in the US, like "Tanaka⁽¹⁾" in Japan. "Keeping up with the Joneses" means trying to do as well as your 12 neighbors, economically and socially. Or at least, trying to look as if you're doing as well. In other words (13), it's all about (14) appearances or how things look. In my case, it's obvious "the Joneses" are better (15) off financially since their houses are about four times the size of mine. But we do all have front yards, and everyone in the neighborhood feels some pressure to keep their yards nice.

(1)「イナノウド」のようにくっつけ て発音するのがコツ。/(2) of が弱 くなる。houses までを一気に「サ モザハウズィーズ」のように発音し よう。/(3)「ワー」よりは「ワ」ぐ らいの感じ。/(4) have が弱くなる。 一気に発音しよう。 /(5) th が n と 同化して「ウェンネイ」のようにな っている。/(6)tがnと同化して「ペ イニッド」のようになっている。/ (7)「ライカノウド」のようにくっつく。 /(8) 2 つの th が 1 つになって「ウ ィザ」。/(9)弱くなって「エン」ぐら い。/(10)2つのtが1つになって「ア ッタイムズ」。

(11) [tənækə] のように「ナ」が強く、 前後は弱く発音される。/(12)くっつ いて「アズウェラジュア」。/(13)くっ ついて「イナザワーヅ」。/(14)くっ ついて「イッツォーラバウト」。/ (15) better のtがdのように発音され (以降「d化」と表記)、このdは 日本語の「ラ行」のようにも聞こえ るので、「ベラー」のつもりで発音 するといい。

本特集の音声解説についてひと言

英語のネイティブスピーカーは、複数の単語をつなげて発音する傾向にありますが、日本人は単語の切れ目で発音も切ってしまいがちです。そこでこの特集の音声解説では、単語の場合は原則として発音記号、複数の単語から成るフレーズの場合は、実際

の発音に近い「カタカナ」で音声を表記しています。 うまく発音できないところは、まずカタカナで思い 切り発音してみてください。それから、ネイティブ スピーカーの発音にさらに近づける努力をするとい いでしょう。

Check!

スクリプトを見る+つぶやき声

1回目	2回目	3回目

[訳] 私が住んでいるのは「歴史的地区」と呼ばれる、昔からある エリア。中には、19世紀に建てられ、当初の外観をそっくりそのま ま復元した家もあります。青、オレンジ、さらにはピンクのような色で、 けばけばしく塗られた家もあるのですが、通りを挟んでちょうど向か い側の家は『風と共に去りぬ』に出てくる、昔ながらの南部の豪邸 そのものに見えます。私の家はというと、1954年に建てられた平 屋で、寝室が2つとバスルームが1つだけという、実はかなり質素 な造りです。「ジョーンズさんたちと張り合う」という表現を聞いた ことがあれば、豪邸に囲まれた小さな家に住むのは、変な感じがす るのでは、と想像されるでしょう。

「ジョーンズ」は日本の「田中」のように、アメリカではとてもよくある名字の一つです。「ジョーンズさんたちと張り合う」は経済的、社会的に、隣人たちと同じぐらいうまくいくよう頑張る、という意味です。あるいは少なくとも、同じぐらいうまいくいっているように見せ掛ける、ともいえるでしょう。つまりは見掛け、物事がどのように見えるか、ということが問題なんです。私の場合は「ジョーンズさんたち」の家がうちの 4 倍ぐらいの大きさなので、経済的に彼らの方が豊かなのは目に見えています。でも、どの家も表に庭があって、住民はみんな、庭をすてきに見せなければ、というプレッシャーを感じているんです。



私はシャドーイングが苦手なので、最初のSTEPでいきなり「スクリプトを見ない」シャドーイングをする、というのは、正直、不安でした。でも、いざ始めてみると、ロパクのシャドーイングは、CDの音に集中できるので、1回目から6~7割ついていくことができ、3回目ではなんと9割近くついていくことができました! つぶやき声のシャドーイングも比較的スムーズにできましたが、毎回必ずつまずく個所が、2、3ありました。

STEP2 暗唱

スクリプトを見ずに、文を思い出して声に出す練習です(文中のスラッシュは、文構造を把握しやすくするためのものです)。 1 周目は、文単位で「筆写 2 回(スラッシュを写す必要はありません)」 \rightarrow 「文法解説を読む」 \rightarrow 「暗唱 3 回」の順番で行い、最後の文まで終えたら、p. 33 のチェックボックスにチェックを入れてください。2 周目は、文単位で「黙読」 \rightarrow 「暗唱 3 回」の順番で行い、最後の文まで終えたら、またチェックボックスにチェックを入れてください。

(1) I live / in an old neighborhood 私は住んでいます / 古いエリアに / 「歴史的地区	
②	文法解説 called ~ は過去分詞で、「~と呼ばれる」。They call an old neighborhood the "Historic Discrict" という SVOC 型を基にしている。
restored / to look just like they 幾つかの家は建てられました / 19 世紀に / そ	t / in the 19th century / and have been did / when they were first built. して復元されました / まさにそれらが見えたように見えるよ
restored / to look just like they	did / when they were first built.

(3) Some are painted crazy colors / like blue, orange the one directly across the street / looks exact mansion / from Gone with the Wind.	
幾つかはけばけばしい色に塗られています / 青やオレンジや、ピンクにさ家は / まさに古い南部の豪邸のように見えます / 『風と共に去りぬ』から抜	
②	Some are painted crazy colors は、 They painted some (of the houses) crazy colors. という SVOC 型の受動態。the one looks のように離れた SV は特に強く意識して暗唱しておくと、耳でも SV 関係を追えるようになるし、自分でも同じ構文を使えるようになる。 Southern (アメリカ)南部の/mansion (豪華な)大邸宅/Gone with the Wind 『風と共に去りぬ』★マーガレット・ミッチェルの長編小説。1936年発表。南北戦争時代のアメリカが舞台。
(4) My own one-story house, / built in 1954, / is a	actually quite modest /
with only two bedrooms and one bathroom. 私自身の 1 階建ての家は / 1954 年に建てられたのですが / 実はかなり質素しかなく	
①	
2	built in 1954 は、SV の間に受動態の分詞構文が割り込んだ形。挿入句の後ろに動詞が来るパターンにも、ぜひ慣れておきたい。withの使い方は何の変哲もないように見えるが、自分からアウトブットするときは文を改めて There are only two bedrooms としたくなる人も多いはず。「簡潔な表現」という観点から参考になる。
	story は「階」の意。 / modest 質素な、地味な

(5) If you've ever heard the expression / "keeping up with the Joneses,"	/
you can imagine / that living in a small house / surrounded b	У
mansions / might feel a little strange / at times.	_

もしあなたが表現をこれまでに聞いたことがあれば / 「ジョーンズさんたちと張り合う」という / あなたは想像 できるでしょう / 小さな家に住むことは / 豪邸に囲まれた / やや奇妙に感じられるかもしれないと / 時には

	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -
	こう。living might feel の「離れた SV」も意識。多くの学習者は「時々」を表すのに sometimes 一本やりで、at times などはなかなか使えない。使える表現のバリエーションを増やしておくことが、リスニングでの反応速度を短縮することにもつながる。 keep up with ~ ~に負けないでついていく/ surronded by ~ ~に取り囲まれた/ at times
	_
(6) "lange" is any of the most sommen family n	
(6) "Jones" is one of the most common family no like "Tanaka" in Japan.	
(6) "Jones" is one of the most common family n like "Tanaka" in Japan. 「ジョーンズさん」は最もよくある名字の一つです / アメリカでは / 日本	names / in the US, /
like "Tanaka" in Japan.	names / in the US, /
like "Tanaka" in Japan. 「ジョーンズさん」は最もよくある名字の一つです / アメリカでは / 日本 ①	names / in the US, /
like "Tanaka" in Japan. 「ジョーンズさん」は最もよくある名字の一つです / アメリカでは / 日本	names / in the US, /

(7) "Keeping up with the Jo	oneses" means / tryi	ing to do / as we	ll as your
neighbors, / economically	y and socially.		

「ジョーンズさんたちと張り合う」は意味します / やろうと頑張ることを / ご近所さんと同じくらいうまく / 経済的にも社会的にも

①	
	動詞の目的語として、通常の名詞
2	ではなく動名詞を用いるパターンも モノにしておくと、便利に使えるし、 リスニングでも意味を追い掛けやす
	くなる。as as のような比較構 文も強く意識しておくべきポイント。 neighbor 近所の人、隣人

Column「暗唱」でとても大切なこと

pp. 24-25 にも書きましたが、大事なので繰り返します。「暗唱」では「無理に覚え込もうとしない」ことが大切です。ジグソーパズルをバラバラにして、ピースをはめていくような感覚で行ってください。ポイントは、覚えていなくても3回終わったら次のセンテンスに進むこと。進んだら前のセンテンスのことは忘れて、目の前のセンテンスに集中すること。忘れてしまった部分は、苦しんで思い出そうとせずスクリプトを見ること。勢いで素早くやるのではなく、ゆっくりゆっくり、文法構造を考えてやること。覚えられなくてもイライラせず、組み立てる作業の過程で力は付いているのだと思い出すことです。これほど繰り返し申し上げても、実際に取り組むとまた「覚えたい病」が頭をもたげます。そのたびに「覚えるのではない、組み立てるのだ」と意識し直しましょう。リスニングだけでなくスピーキングで役に立つのも、実はこの組み立てる力(定型表現は別として)なのですから!

あるいは少なくとも / 見せようとすることを / やって	いるかのように / 同じようにうまく
① ②	ここは前文の means とつながっているため、正式な文の形になっていない。このような変化球も受け入れて練習しておくことで、柔軟な理解ができるようになる。 as if (かのように) も要注目。 as well の後ろに as your neighborsが省略されている。
(9) In other words, / it's all about appo	
言い換えれば / それは見掛けがすべてなのです / ある	いは物事がどのように見えるかという
① ②	A is about B は「A は B についての もの」→「A の主たる目的・関心 事は B」という意味。強調の all が 入ることも多い。例:This company is all about satisfying the customers.(この会社にとっては、 お客さまの満足がすべてだ)
	appearance 外見、印象
(10) In my case, / it's obvious /"the Josince their houses are about four 私の場合は / 明らかです / 「ジョーンズさんたち」かす / 私の家のサイズの	
2	better off は「物事がよりよい状況 になる」の意味で、暮らし向きなど に用いることが多い。元の形は well off。~ times the size of A (A のサイズの~倍)は、絶対使える ようにしておくべき表現。 well off 裕福な、順境にある

(8) Or at least, / trying to look / as if you're doing / as well.

(11) But we do all have front yards, / and everyone in the neighborhood / feels some pressure / to keep their yards nice.

しかし、私たちはみんな、前庭は確かに持っています / そして近所の皆が / 幾らかのプレッシャーを感じています / 庭をすてきに保つという

		 front yard 前庭
		•••••
		であることが多い。ここでは「みんな、庭だけは同じようにある」とい うニュアンス。
		助動詞 do は「強調」。強調する 理由は「対比」を明確にするため
2		
<u></u>		

Ch	eck!		
	1周目	2 周目	
		• 🗀	

Column スラッシュについて

本特集の「暗唱用スクリプト」では、センテンスをスラッシュで区切っています。これには、スラッシュに分けられたカタマリを1つの単位として、それらを組み合わせることを意識しながら暗唱していただく意図があります。スラッシュを入れる場所は、文法的な切れ目を基本としつつも、定型表現としてのまとまりや覚えやすい単語数なども加味して決めてあります。例えば同じSVO型でも、目的語の長さによってSVOとしたりSV/Oとしたりしています。切り方に絶対的なルールはなく、現在の英語力に応じて自分がついていける長さに適宜変更して行っても結構です。



筆写を通じて文の構造を確認していくと、STEP1のシャドーイングで毎回同じ所でつまずいていたのは、スピードについていけないのが原因ではなく、その部分の文の構造が見えていなかったから、ということに気が付きました。また、筆写の後の暗唱では、冠詞が抜けたり、接続詞を間違えておかしな文を言ってしまうこともありましたが、2周目になると、文の構造が頭に入って覚えやすくなり、抑揚を付けて暗唱する余裕が持てるようになりました。

STEP3 音読

下のスクリプトを見ながら、CD は使わず、3 つの速度で合計 4 回音読します (トラック全体が 1 単位。文単位で速度を変えて 4 回読むわけではありません)。 1 回読み終えるたびに、チェックボックスにチェックを入れてください。

I live in an old neighborhood called the "Historic District." Some of the houses were built in the 19th century and have been restored to look just like they did when they were first built. Some are painted crazy colors like blue, orange, and even pink, but the one directly across the street looks exactly like an old Southern mansion from *Gone with the Wind*. My own one-story house, built in 1954, is actually quite modest, with only two bedrooms and one bathroom. If you've ever heard the expression "keeping up with the Joneses," you can imagine that living in a small house surrounded by mansions might feel a little strange at times.

"Jonese" is one of the most common family names in the US, like "Tanaka" in Japan. "Keeping up with the Joneses" means trying to do as well as your neighbors, economically and socially. Or at least, trying to look as if you're doing as well. In other words, it's all about appearances or how things look. In my case, it's obvious "the Joneses" are better off financially since their houses are about four times the size of mine. But we do all have front yards, and everyone in the neighborhood feels some pressure to keep their yards nice.

ゆっくり 普通 速く 1回目 1回目 1回目 2回目 □ □ □ □

編集部(の)がやってみました!

STEP2 で暗唱したおかげで、「読む」というよりも「確認する」感覚で音読できました。また、意味の切れ目で息継ぎができるようになりました。

STEP4 シャドーイング 2



「音声イメージ」の確認のため、再度シャドーイングします。まずは CD 音声を 1 回聞きます。 その後、1 トラックを 3 回シャドーイングします。スクリプトは、上の「音読」を参照してください。 1 回終えるごとにチェックボックスにチェックを入れてください。

Ch	eck!		
	聞くだけ	スクリプトを見る +声大きめ	スクリプトを見ない +声大きめ
	1回目	1回目	1回目 2回目

これで4つのSTEPが終わりました。いかがでしたか? この調子で、エッセーの後半にも頑張って取り組んでください。

編集部(の)が やってみました

CD の 音 声 を 聞 く の は STEP1 以来ですが、とても 自然に耳に入ってきました。 STEP1 で毎回つまずいていた

個所もスムーズにこなせるようになり、 最後は、CD の発音とできるだけそっく りになるようにシャドーイングしました。

練習その2 エッセー(後半)

次は、Keep up with the Joneses の後半部分で練習してみましょう。 途中でやり方がわからなくなったら、pp. 24-25 に戻ってトレーニングの要領をもう一度確認してから、 やってみてください。

STEP1 シャドーイング ①



Ch	eck!		
	スクリプトを見ない+口パク	スクリプトを見ない+つぶやき声	
	10目 20目 30目	1回目 2回目 3回目 Check! スクリプトを見る+つぶやき声	
		108 208 308	

When I⁽¹⁾ moved into my house in November of ⁽²⁾ 2007, my next-door neighbors had a⁽³⁾ big "Yard of the Month" sign in their front yard. This is an award ⁽⁴⁾ given to one household each month for a beautifully landscaped yard. The yard and family are featured in the local newspaper too, with lots of pictures. Moving next door to a yard of the month ⁽⁵⁾ winner was a little intimidating. I'm not much of a gardener myself, and sometimes my grass grows a little too high before I have a chance to mow ⁽⁶⁾ it. I have to admit, I would probably let it ⁽⁷⁾ grow even higher if the Joneses weren't ⁽⁸⁾ next door.

I never thought about keeping up with the Tanakas in Tokyo. My apartment looked like all the others on the outside, and I enjoyed the anonymity. But it is ⁽⁹⁾ fun to zip around the yard now and then ⁽¹⁰⁾ on an old ⁽¹¹⁾, squeaky riding lawnmower. Last time I got a little ⁽¹²⁾ too close to the flower bed and plowed up a few bulbs ⁽¹³⁾ by accident. I looked around quickly and then smiled. None of the ⁽¹⁴⁾ Joneses were watching.

(1)「ウェナイ」。/(2)非常に弱く発音される。/(3)「ハダ」。/(4)「アナウォード」。/(5)音の変化はdが o とくっつく程度だが、途中で切らずに一息で発音するのがコツ。/(6)[móu]。/(7)くっついてtがd化し「レディッ」。/(8)非常に弱く、tが破裂しないため、「ワン」ぐらいの感じ。

(9)くっついて t が d 化。 d は日本語の「ラ行」のようにも聞こえるので、「イリーズ」ぐらいの感じ。 / (10) d と th が共に n に同化する感じで「ナウアネン」。 / (11)くっついて「オナノウド」。 / (12) got と little の t が d 化し「ガラリル」。 / (13) bulb は「バルブ」というよりは「ボウブ」に近い。/ (14)「ナノヴザ」。

[訳] 私が 2007 年 11 月にこの家に引っ越してきた時、お隣の庭には「今月の庭」という大きなボードが掲げられていました。これは、きれいに景観を整えられた庭を表彰して、毎月一家庭に与えられる賞なのです。その庭と家族は、地元紙にも、たくさんの写真付きで取り上げられます。今月の庭の受賞家族の隣に引っ越してくるのは、少し勇気が要りました。私自身、庭の手入れがあまり得意ではありませんし、時々、芝を刈る時間が取れる前に伸び過ぎてしまうんですもの。正直に認めると、ジョーンズさんたちがお隣にいなければ、多分、もっと伸び放題のまま放っておくでしょう。

東京にいた時は、田中さんと張り合わなきゃ、なんて考えもしませんでした。私のアパートは外から見ればほかのみんなの家と同じに見えましたし、その無名な感じを楽しんでいたのです。でも、時には古くてギーギー鳴る芝刈り機に乗って、庭を勢いよく動き回るのも楽しいものです。この間は花壇に少し近寄り過ぎて、うっかり球根を幾つか掘り起こしてしまいました。素早く辺りを見回し、にっこりと微笑んだ私。ジョーンズさんたちには見られていなかったようです。

(全訳:鈴木香織)

(12) When I moved into my house / in November of 2007, / my next-door neighbors had / a big "Yard of the Month" sign / in their front yard.

私が私の家に引っ越した時 / 2007年の11月に / お隣の人たちは掲げていました / 大きな「今月の庭」とい う看板を/前庭に

1		
2		「〜という看板」をこのように簡潔 に 表 せる だろうか。a sign that says のようにしたくなるので
		は? それはそれで正しいが、表現のパリエーションを増やすこと、簡潔な表し方を学ぶことを、常に意識しておきたい。 move into ~ ~に引っ越す/ sign 看板、標識
(13	B) This is an award / given to one household / e beautifully landscaped yard. これは賞なのです / 1 つの家庭に与えられる / 毎月 / きれいに景観を整え	
<u> </u>		
2		given (与えられた) は過去分詞で、 後ろから an award を修飾してい る。for は「理由」で an award と つながっている。このように位置が 離れてわかりづらいコロケーション を、耳で把握できるかどうかは非常 に重要。
		• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •

	-
	-
	- 主語が A and B の形になっている
	のを受けて、動詞が are になっている。主語の数と動詞の呼応も、意
	識すべきポイント。 •••••••
	feature (記事などで)特集する / local 地元の、現地の
5) Moving next door / to a yard of the mont intimidating.	n winner / was a little
	•
	N = T 10 21 6 = 7 - 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
	主語が動名詞の Moving(引っ越
	すこと)であることと、動詞 was が 離れていることを意識しよう。next
	すこと)であることと、動詞 was が
	すこと)であることと、動詞 was が 離れていることを意識しよう。next door は、名詞句が副詞として働く 用法で、「隣に」の意。後ろに前
midating. っ越すことは / 「今月の庭」の勝者の / 少々恐ろしいことです	

	grows a little too high / before I have a chance Alabeta り り り り り り り り り り り り り り り り り り り	うちの芝は少々高く伸び過ぎます / 私
1		_
		-
2		_ A is not much of B(A は大した ではない)も覚えておきたい表現
		be not much of ~ 大した~ はない/ gardener 庭師、庭
		じりの好きな人/ grass 芝 _ mow 刈る
		じりの好きな人/ grass 芝 _ mow 刈る
(17) I have to admit, / I would probably let it gro Joneses weren't next door.	_ mow 刈る
(17) I have to admit, / I would probably let it gro Joneses weren't next door. 私は認めなければいけません / 私はおそらくそれを伸ばしっ放しにして 「ジョーンズさんたち」が隣にいなければ	mow শ্রহ
(17 ①	Joneses weren't next door. 私は認めなければいけません / 私はおそらくそれを伸ばしっ放しにして	mow শ্রহ
	Joneses weren't next door. 私は認めなければいけません / 私はおそらくそれを伸ばしっ放しにして	mow শ্রহ
	Joneses weren't next door. 私は認めなければいけません / 私はおそらくそれを伸ばしっ放しにして	mow শ্রহ
	Joneses weren't next door. 私は認めなければいけません / 私はおそらくそれを伸ばしっ放しにして	mow শ্রহ
	Joneses weren't next door. 私は認めなければいけません / 私はおそらくそれを伸ばしっ放しにして	mow 刈る wwwwwwwwwwwwwwwwwwwwwwwwwwwwwwwwww
	Joneses weren't next door. 私は認めなければいけません / 私はおそらくそれを伸ばしっ放しにして	mow শ্রহ

私は全く考えませんでした / 田中さんたちと張り合うことについ	ては / 東京で
①	
2	前置詞の後ろに動名詞を用いるパターンも、「読むと簡単だが、なかなか使えない表現」の部類。しつこいようだが、自分で使える表現のバリエーションを増やすことが、リスニングの反応速度の早さにつながることを、常に意識してほしい。
(19) My apartment looked like all the other enjoyed the anonymity. 私のアパートはほかのアパートすべてと同じように見えました / ました	
$^{\odot}$	
2	「外見は」を on the outside と表現できるか、と自問しよう。 the anonymity の the はその前の内容である「ほかと似ていること」を受けて、「その(ほかの家に紛れるという)匿名性」。
	anonymity 匿名性

(18) I never thought about / keeping up with the Tanakas / in Tokyo.

Column「読んでわかる」ではなく「自分で使える」ように

今回取り上げたのは、どれも構文のしっかりした英文ですが、中にはやさしく感じられる文もあることでしょう。さあ、そこで自問自答してほしいのです。その「やさしい」は「読んで理解できる」という意味の容易さではありませんか? その表現は、すぐにあなたの口をついて出てきますか? 特に「暗唱」では、時に「なんでこんな簡単な表現を練習しなきゃいけないんだろう」と思うこともあるかもしれません。しか

し「この英語は自分の口から出てくるだろうか」というフィルターを通して考えてほしいのです。もしその 英語が自分の口から即座に出てこないとすれば、それらは練習する価値があります。それこそが、リスニン グのコンマ何秒の理解の遅れにつながっているからで す。本特集の「文法解説」は、まるでスピーキングの 解説のように感じられるでしょうが、それも「自分で 使えるか」を意識してほしいからなのです。

(20) But it is fun / to zip around the yard / now and then / on an old, squeaky riding lawnmower.

しかし、楽しいのです / 庭中を勢いよく動き回るのは / 時には / 古くてギーギー鳴る芝刈り機に乗って

2	先ほどの at times と同じく、now and then (時々) も自分からは使わない表現ではないだろうか。「時々」に相当する表現には、ほかにfrom time to time などもある。
	zip 勢いよく進む/ now and then 時々/ squeaky キーキーいう、きしる/ lawnmower 芝刈り機
(21) Last time / I got a little too close / plowed up a few bulbs / by accident.	
plowed up a few bulbs / by accident.	
plowed up a few bulbs / by accident. この間は / 私は少し近づき過ぎました / 花壇に / そして幾つ	
plowed up a few bulbs / by accident. この間は / 私は少し近づき過ぎました / 花壇に / そして幾つ	
plowed up a few bulbs / by accident. この間は / 私は少し近づき過ぎました / 花壇に / そして幾つ	
plowed up a few bulbs / by accident. この間は / 私は少し近づき過ぎました / 花壇に / そして幾つっ	
plowed up a few bulbs / by accident. この間は / 私は少し近づき過ぎました / 花壇に / そして幾つ	

(22) I looked around quickly / and then smiled. // None of the Joneses were watching.

私は素早く辺りを見回しました / そして微笑みました //「ジョーンズさんたち」の誰も見ていませんでした

2	None of the を聞き取ること自体はさほど問題ないかもしれないが、日本人の英語学習者は、得てして否定語を前に出す否定文を作るのが苦手。「自分が使えるようになること」を目指して、きちんと練習しておきたい。
	※筆写と暗唱は原則として文単位で行いますが、文の長さの関係で、この(22)のみ2文を1単位としています。

Check! 2周目

Column 80% (65%?)主義

語学の学習は完璧を目指すよりも80%、いや時には65%ぐらいを目指す方が長続きします。「暗唱」でセンテンスを完全に覚えられなくても、「シャドーイング」で完璧についていけなくても、次のSTEPに進んでいいのです。

語学では(あるいはほかの学習でも)参考書などを「完璧にやった」という満足感を求めたり、逆に「終わっていない」「完璧でない」ことに罪悪感を感じたりしがちです。しかし、多くの生徒さんを見てきた経験からすると、それが継続を阻害する要因となっていることがよくあります。むしろ、やや粗めにでも先に

進めてしまい、「学習が進んでいる」という感覚を維持する方が、やる気が出てくるようです。「まだ完璧ではない」という「欠乏感」も、「さらに学習を続けていこう」という気持ちを生みます。

一方で、それがわかっていても「満足感」が欲しくなるときもあるものです。その場合は、一定範囲(本特集であれば3つの文章全部)をいったん粗めに終えてから、最初に戻ってもう一度繰り返すと、今度は完璧に近い形でできる可能性が高まります。初めから100%を目指さない、というのが、モチベーションを維持しながら学習を続けるコツなのです。

STEP3

When I moved into my house in November of 2007, my next-door neighbors had a big "Yard of the Month" sign in their front yard. This is an award given to one household each month for a beautifully landscaped yard. The yard and family are featured in the local newspaper too, with lots of pictures. Moving next door to a yard of the month winner was a little intimidating. I'm not much of a gardener myself, and sometimes my grass grows a little too high before I have a chance to mow it. I have to admit, I would probably let it grow even higher if the Joneses weren't next door.

I never thought about keeping up with the Tanakas in Tokyo. My apartment looked like all the others on the outside, and I enjoyed the anonymity. But it is fun to zip around the yard now and then on an old, squeaky riding lawnmower. Last time I got a little too close to the flower bed and plowed up a few bulbs by accident. I looked around quickly and then smiled. None of the Joneses were watching.

Cł	reck!						
	ゆっくり	•	普通	•	速く		
	1回目	0	1回目	0	1回目	2回目	

シャドーイングロ



Ch	eck!		
	聞くだけ	スクリプトを見る +声大きめ	スクリプトを見ない +声大きめ
	1回目	10目	10目 20目

STEP にはもう慣れましたか? 最後はスピーチを素材に 練習しましょう。

Column 繰り返し聞こう

本特集の STEP とは別に、CD の音声を繰り返し聞 くと、「正しい音声イメージ」が定着しやすくなりま す。「英語とはこのように発音されるもの」というイ メージがわくようになり、自分の発音向上や、リスニ ング力のさらなるアップにつながりますし、表現もよ

り深く定着します。お薦めは30回以上。練習が終わ った後の素材であれば、それほど根を詰めて聞かなく ても、単なる「聞き流し」にはならず、効果がありま す。iPod などのデバイスで 1 トラックを繰り返す設 定にして、スキマ時間などに聞くといいでしょう。

練習その3 スピーチ

最後に、オバマ大統領が、今年 2 月 16 日にホワイトハウスで行ったスピーチの、冒頭の部分を使って学習しましょう。 ここでオバマは、クリントン・ブッシュ元大統領が、大地震に見舞われたハイチの被災者支援の資金集めを率いること を発表し、アメリカ国民にも協力を呼び掛けています。

STEP1 シャドーイング ①



Ch	eck!			Ch	eck!
	スクリプトを見ない +ロパク	•	スクリプトを見ない +つぶやき声		スクリプトを見る +つぶやき声
	10目 20目 30目	•	1回目 2回目 3回目		10目 20目 30目

Good morning, everybody. In times of great challenge <u>in our</u>⁽¹⁾ country <u>and around the</u>⁽²⁾ world, <u>Americans have</u>⁽³⁾ always come together to lend a hand and to serve others and to do what's right. That's what the American people have been doing in recent days with their extraordinary generosity and contributions to the <u>Haitian</u>⁽⁴⁾ people.

At this moment, we're moving forward with one of the largest relief efforts in our history — to save lives and to deliver relief that averts an even larger catastrophe historic effort that extends beyond our government, because America has no greater resource than the strength and the compassion of the American people.

We just met in the <u>Oval</u>⁽¹⁰⁾ Office — an office they <u>both</u>⁽¹¹⁾ know well. And I'm pleased <u>that</u>⁽¹²⁾ President George W. Bush and President Bill <u>Clinton</u>⁽¹³⁾ <u>have agreed to</u>⁽¹⁴⁾ lead a major fundraising effort for relief: the Clinton Bush <u>Haiti</u>⁽¹⁵⁾ Fund. On behalf of the American people, I <u>want to</u>⁽¹⁶⁾ thank both of you for returning to service and leading this urgent mission.

This is 1077 a model that 108 works. After the terrible tsunami in Asia, President Bush turned to 1089 President Clinton and the first President Bush to lead a 2000 similar fund. That effort 2011 raised substantial resources for the victims of that disaster — money that helped 2021 save lives, deliver aid and rebuild communities. And that's exactly what the people of Haiti desperately need right now.

(1) our は「アー」ぐらいに発音されることが多い。ここでは in とつながって「イナー」。 country までを一気に。 /(2)「ェナラウンダ」のようになる。 world までを一気に。/(3)ほとんど Americans に v の音がくっついているだけといってもいい状態。/(4) [héiʃən]。「ヘイシャン」に近い。

(5)ここも「イナー」。 / (6) to が非常に弱く、d が n とやや同化して「エンドゥ」 に近い。 ただし t はわずかに残っている。 / (7) t と a がつながって t が d 化し、「ダラヴァーツ」。 / (8) [kətæstrəfi]。 ta にアクセント・/ (9) u にアクセントがあり、en が弱いため「ゥンシューア」のように聞こえる。

(0) [óuvəl]。 二 重 母 音。 / (1) [bóuθ]。二重母音。/(12)非常に弱く、最後のtは破裂させない。/(13)tが、鼻から息を抜いて発音されるために、「クリノン」に聞こえる。/(14)「ハヴァグリートゥ」。/(15) [héiti]。tが d化して「ヘイリー」のようになる。/(16)「ワナ」。

(17) is が極めて弱く、「ディズ」のように聞こえる。 / (18) 非常に弱い。 / (19) dとtが同化し、「ターントゥ」のようになる。 / (20) [éi] と発音している。 / (21) 「ダレフォート」。 / (22) that が弱く、tが he とつながるのだが、h が弱いために「ダレウプト」のように聞こえる。

[訳] 皆さん、おはようございます。私たちの国、そして世界を大 きな困難が襲うときには、アメリカ人は常に一致団結して手を差し 伸べ、人のために尽くし、正しいことを行ってきました。それこそが、 最近の数日間においても、ハイチの人々に対して、アメリカ国民が 非常に寛大な精神と貢献をもって行ってきていることなのです。

今この瞬間も、私たちはアメリカ史上最大級の救援活動を進め ています。人命を救い、これ以上の惨事を食い止めるような援助を 届けるために。お二人の指導者が今日、私と共におられ、この活 動を、政府という枠組みを超えた、歴史的な取り組みによって支え ていくことを請け合ってくれます。アメリカには、アメリカ国民の力 強さと思いやりに勝る資源はないのですから。

私とお二人は、先ほど大統領執務室で会談を行いました。お二 人ともがよく知る執務室です。ジョージ・W・ブッシュ大統領から

もビル・クリントン大統領からも、大きな資金集めの取り組みの先 頭に立っていただくことへの同意を得ましたことを、私は喜んでおり ます。これは「クリントン・ブッシュ・ハイチ基金」と呼ばれます。人々 に貢献する仕事にお戻りいただくこと、この緊急を要する活動を引 っ張っていただくことに対し、アメリカ国民を代表して私から両大統 領に御礼を申し上げたいと思います。

これは実効性のある援助の形であります。あの恐ろしい津波がア ジアを襲った後、ブッシュ大統領は、クリントン大統領と初代ブッ シュ大統領にお願いして、同じような資金集めの先頭に立つように 頼みました。その取り組みは、あの大災害の被災者のために相当な 資金を集めました。その資金が人命を救い、援助をもたらし、コミ ュニティーを再建したのです。そしてそれがまさに、今ハイチの人々 が切実に必要としているものであります。

暗唱 STEP2

(1) Good morning, / everybody.

おはようございます / 皆さん

(I)

(2)

Column 発音はやはり大切

発音の学習は極めて重要です。英語に関心が高いに もかかわらず、発音記号すら読めない学習者が圧倒的 多数なのは、驚くべきことです。

発音には大きく分けて、RやTHのような個々の「音 素」と、文全体を発音する際の「リズム」の側面があ ります。「シャドーイング」はこのうち「リズム」の 側面に効く学習法ですが、「音素」は別途学んでいた だく必要があります。市販の参考書を使ったり学校に 通うなりして発音を学べば、河野メソッドの効果も高 まります。

本特集の「音声解説」で用いているカタカナは、音 声の学習がまだ進んでいない人を考慮に入れた、あく までも過渡的な手段です。初心者には有効ですが、当 然、限界もあります。ぜひ早い機会に発音学習に取り 組み、「音素」はもちろんのこと、できれば「アクセント」 「音の変化」まで押さえておくことをお薦めします。

others / and to do what's right.	ther / to lend a hand / and to serve successory / market / for the serve successory / market / for the serve
①	
②	in times of ~ (~のときには) の -s に 注 意。challenge の 意 味 は difficulty に近く、日本語の「チャレンジ」とはニュアンスが違う。英語で3つ以上のものを並列するときは A, B, and C が基本だが、to lend and to serve and to do は A and B and C の形になっている。こちらも時々見掛ける形。 in times of ~ ~のときには / come together 一致する、団結する / lend a hand 手を貸す / serve (~ [人] の) 役に立つ
(3) That's what the American people hav their extraordinary generosity and co それがアメリカ国民がしてきていることです/最近の数E	ntributions / to the Haitian people.
②	what 節が補語。現在完了進行形 (have been doing) を使うと、現在完了形よりも「ずっとやってきている」感じや「動きが続いている」感じが増す。generosityは「寛大さ」という抽象概念である一方、contributions は「(あれやこれやの具体的な) 貢献」を意味していることが-sの有無でわかる。 extraordinary 驚くべき、並外れた/generosity 寛大、寛容、度量の大きさ/contribution to ~ ~への貢献、~への寄与/Haitian ハイチの

(4) At this moment, / we're moving forward / with one of the largest relief efforts / in our history / — to save lives / and to deliver relief / that averts an even larger catastrophe.

今この瞬間も / 私たちは進めています / 最も大きな救援活動の一つを / 私たちの歴史上の / ――人命を救うた めに / そして援助を届けるために / より大きな災害を防ぐ

①	
2	move forward with ~ はここでは 「~を進める」くらいの意味。even は比較級の強調。
	relief 救済、救援 / effort 努力、(目的達成のための) 行動 / save lives 命を教う ★ lives は life (生命) の複数形。 / deliver 届ける / avert 避け る / catastrophe 大惨事、大 災害

Column スピーキングへの応用

「アウトプットを意識する」とはいえ、本特集で はリスニング力の向上という目的のために最適化し た STEP を組んでいます。しかし以下に挙げる「追加 STEP」を行えば、より効果的なスピーキングの練習 になります。

①今回の STEP 全体を 2回 3回と繰り返し、パッセー ジ全体を50%以上覚えている状態にする。「覚えよう」 と意識するのではなく、「繰り返した結果、覚えてし まった」となるのが理想。

- ②「想起訓練」を行う。通勤・通学中などの細切れ時 間にパッセージを思い出す。ポケットにスクリプトの コピーを入れておき、忘れてしまったところを確認す る。何度か繰り返して、90%ぐらいの完成度を目指す。 和訳を見て英語に訳し直すのもいい。
- ③学んだ表現の一部を変え、新たな英文を作ってみる。 または、スクリプトから離れて自分で自由に英文を作 り、その中で学んだ表現を使ってみる。

(5) The two leaders with me today / will ensit historic effort / that extends beyond America has no greater resource / than the of the American people. 私と今日共にいる二人の指導者は / 保証します / これ (教援活動) がの政府を超えて広がる / アメリカはより偉大な資源を持たないからて	our government, / because strength and the compassion が歴史的努力によって合わされるように / 私たち
②	このセンテンスは 4 つも節があって 長いが、このようなものこそ焦らず、 文法に沿ってゆっくり組み立てる意 識で練習しよう。実力を付けるチャ ンスと考えてじっくり取り組みたい。 this is matched by a historic effort は「今も大きな救援活 動が行われているが、これに匹敵 するだけの(元大統領が率いる資 金集めという)歴史的な努力を組 み合わせ、支えていかなければなら ない」というニュアンス。no greater source than のように < 否 定語+比較級 > で「最上級」を表 す表現も、耳で聞いてピンと来ず、自分からは使いにくい。 ensure 保証する、請け合う/ match (~に)匹敵する、(~) と対等である/extend 伸びる、 広がる/beyond ~ ~を超え て、~の彼方に/strength 力、 強さ/compassion 深い思い やり、同情
(6) We just met / in the Oval Office / — an off 私たちはたった今、会合をしたところです / 大統領執務室で / —	•
①	·
②	office と they の間に関係代名詞の 省略がある。 the Oval Office (ホワイトハウ スにある)大統領執務室

(7) And I'm pleased / that	President	George W.	Bush and	President Bi	II
Clinton have agreed to	lead / a i	major fundr	aising effo	ort for relief:	/
the Clinton Bush Haiti Fu	und.	-			

そして私は喜んでいます / ジョージ・W・ブッシュ大統領とビル・クリントン大統領が先頭に立つことに同意してくれて / 救援のための大きな資金集めの取り組みの / 「クリントン・ブッシュ・ハイチ基金」という

	この that 節は「感情の理由」と呼ばれる用法で、ここでは pleased (喜んでいる) の説明になっている。 have agreed の「合意して今に至る」→「今はその合意の下に、動ける状態だ」というニュアンスを味わおう。先ほどのa historic effort もそうだが、ここでも effort には a が付いている。ハイチの救援活動、あるいは資金を集める運動そのものを一つの具体的イベントと見ていることがわかる。より抽象的な「努力というもの」という意味では無冠詞になる。 fundraising 資金調達の、寄付金集めの
(8) On behalf of the American people, / I want to t returning to service / and leading this urgent m	ission.
	ission.
returning to service / and leading this urgent m アメリカ国民を代表して / 私はあなたがたお二人に感謝します / 職務にお	ission.
returning to service / and leading this urgent m アメリカ国民を代表して / 私はあなたがたお二人に感謝します / 職務にお緊急の任務を率いていただくことに	ission.
returning to service / and leading this urgent m アメリカ国民を代表して / 私はあなたがたお二人に感謝します / 職務にお緊急の任務を率いていただくことに	ission.

(9) This is a model / that works. これは形態です / 実際に効果がある	
① ②	This は前の内容を受けて、「元大統領が資金集め運動の先頭に立つこと」を指す。model は「(そうした活動の) 形態」。works は「実際に効果がある」ぐらいの意味で、直後に「アジアで起こった津波の時も元大統領が先頭になって資金集めが成功したという実績がある」という例が述べられている。
HARLINGE DE LE	
(10) After the terrible tsunami in Asia, / Presic Clinton and the first President Bush / to le アジアにおけるあの恐ろしい津波の後 / ブッシュ大統領はクリました / 同様の基金の先頭に立ってくれるように	ead a similar fund.
②	turn to A to do は、ask A to do に近く、「A に~してほしいとお願いする、頼る」ぐらいの意味。 the terrible tsunami in Asia ★ 2004 年 12 月に起きたインドネシア・スマトラ島沖地震を指す。 / the first President Bush ★ アメリカの第 41 代大統領 (1989-93 在任)。第 43 代大統領だったジョージ・W・ブッシュ (2001-09 在任)の父。

(11) That effort	raised s	ubstantial	resources	for the	victims	of that
disaster / —	money t	that helped	save lives,	/ deliver	aid / and	rebuild
communities	5.					

その取り組みは相当な資金を集めました / あの災害の被災者のために / ――命を救うのに役立ったお金です / 援助を届けるのに / そしてコミュニティーを復興させるのに

<u> </u>	
	money that は substantial — resources を言い換えて詳しく述べ たもので、いわゆる「同 格 」。
	helped save ~ は help do(~するのを助ける)の形で、help O doのののを明示しない形と解釈できる。イギリスでは help to do とするのが
2	基本。
	raise (~ [金] を) 集める、調 達する / substantial (量・大 きさなどが)十分な、かなりの / resource 資 金、財 源 /
	wictim 被害者、被災者/ disaster 災害、天災/aid 援助、救援/rebuild 再建する、
(12) And that's exactly / what the people of Hai right now.	ti desperately need /
right now.	
right now. そしてそれがまさに / ハイチの人々が切実に必要としていることなの	
right now. そしてそれがまさに / ハイチの人々が切実に必要としていることなの	です / 今この時に
right now. そしてそれがまさに / ハイチの人々が切実に必要としていることなの ①	です / 今この時に
right now. そしてそれがまさに / ハイチの人々が切実に必要としていることなの ①	です / 今この時に

STEP3 音読

Good morning, everybody. In times of great challenge in our country and around the world, Americans have always come together to lend a hand and to serve others and to do what's right. That's what the American people have been doing in recent days with their extraordinary generosity and contributions to the Haitian people.

At this moment, we're moving forward with one of the largest relief efforts in our history — to save lives and to deliver relief that averts an even larger catastrophe. The two leaders with me today will ensure that this is matched by a historic effort that extends beyond our government, because America has no greater resource than the strength and the compassion of the American people.

We just met in the Oval Office — an office they both know well. And I'm pleased that President George W. Bush and President Bill Clinton have agreed to lead a major fundraising effort for relief: the Clinton Bush Haiti Fund. On behalf of the American people, I want to thank both of you for returning to service and leading this urgent mission.

This is a model that works. After the terrible tsunami in Asia, President Bush turned to President Clinton and the first President Bush to lead a similar fund. That effort raised substantial resources for the victims of that disaster — money that helped save lives, deliver aid and rebuild communities. And that's exactly what the people of Haiti desperately need right now.

Check!		
ゆっくり	普通	速く
1回目	1回目	1回目 2回目

STEP4 シャドーイング 2



Ch	eck!		
	聞くだけ	スクリプトを見る +声大きめ	スクリプトを見ない +声大きめ
	1回目	1回目	1回目 2回目

トレーニングは以上で終わり です。お疲れさまでした!